

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立警固屋小学校  
(警固屋中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画(指標)	+6.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	-	-	-
令和6年度	-	-	-
令和5年度	-	-	-
令和4年度	-3.6	-7.2	+2.7

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>本校 <u>62%</u> 全国 <u>65.6%</u> 県 <u>67%</u></p>	<p><b>重点課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる問題において、登場人物の相互関係で、「老人」と「ぼく」について複数の描写を基に捉えることに課題があった。</li> <li>◇ 読んだり聞いたりする際に、複数の情報(描写)を基に考えることに課題がある。</li> </ul> <p><b>改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 第5学年以上において、授業の中で、描写に着目しながら読み進める経験を積ませる。登場人物の心情は、直接的に描写されているものだけでなく、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景を通して間接的に描かれているものまでを整理し、人物像や全体像を具体的に想像させる。</li> <li>◇ 導入時・読書活動の際に一言感想を書き、着目した部分や各自が思ったことを互いに伝え、比較し合う、その際に、対義語や類義語、語句の意味や用法などについても調べたり、比較し合ったりする。</li> </ul> <p><b>検証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎◇全国学力 設問2(2)(5,6学年 12月) 目標90%→92.9%</li> <li>◎◇全国学力 設問2(2)の類似問題(5,6学年 12月) 目標95%→96.5%</li> </ul>
<p><b>算数</b></p> <p>本校 <u>56%</u> 全国 <u>63.2%</u> 県 <u>64%</u></p>	<p><b>重点課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を見る問題で、基準量、比較量、割合の関係を捉え、割合と基準量から、比較量を求めることができなかった。百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求められるようにすることが課題である。</li> <li>◇ 算数・数学用語の基礎的な意味の理解や技能の習熟が不十分であり、文章題では筋道立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。</li> </ul> <p><b>改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 第5学年以上において、割合を用いて問題を解決するために、問題場面の数量に着目し、基準量・比較量・割合の関係を理解させることが必要。そのために、日常の具体的な場面に対応させながら、基準量、比較量、割合の関係を捉える。また問題を解く際は、式・答えだけを求めるのではなく、図や算数用語を使って、言葉や文章で説明できるよう繰り返し指導を行う。</li> <li>◇ 文章題に取り組む際には、既習事項の何が使えるか考えさせる。そして、算数・数学用語、図などをつかって筋道立てて手説明できるよう文章の型等を示して繰り返し取り組む。</li> </ul> <p><b>検証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 全国学力 設問2(2)(5,6学年 1月) 目標90%→98%</li> <li>◎ 「割合」の市販のテスト問題(5,6学年 1月) 目標80%→96.4%</li> <li>◇ 標準学力調査の類似問題 小学校、中学校 目標75%→小学校 85.4% 中学校3年 60.6% 2年 72.9%</li> </ul>
<p><b>理科</b></p> <p>本校 <u>66%</u> 全国 <u>63.3%</u> 県 <u>66%</u></p>	<p><b>重点課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 冬の夜の気温の変化を対象として、観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つことができるかをみる問題で、「冬の晴れた夜は、気温が下がる。」の根拠について、天気や気温の時間による変化、昼夜を基に、提示された結果を分析し、自分の考えを持つことに課題があった。</li> <li>◇ 実験・観察したことに対してその結果から様々な視点で考察することに課題がある。</li> </ul> <p><b>改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 第4学年以上において、資料から結論を導き出すために必要な数量、変化の大きさなどの特徴を見つけ、自分の考えを持ちながら確かめる課題を設定し、観察などで結果を、結果からいえることの視点で分析する経験を重ねる。具体的には、授業の中で自分のことばでまとめた後、さらに実験や観察の記録に立ち返り、なぜそういえるのかを考えさせ、理由を焦点化させることを繰り返す。</li> <li>◇ 授業の中では、身近にある科学的な事柄について考察する際、自分の言葉で表現したことを交流する時間を確実に設定する。</li> </ul> <p><b>検証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 全国学力 設問4-1(3)(5~6学年 12月) 目標90%→97.2%</li> <li>◎ 全国学力 設問4-1(3)の類似問題(5~6学年 12月) 目標85%→88.8%</li> <li>◇ 物質とエネルギーの領域において思考・判断・表現を問う問題の正答率 小 目標 小6発電と電気の利用 85%→89.1%(2月単元) 中 目標 中9該当範囲小テスト 80%→設問3 81.8% 設問5 72.7%</li> </ul>

【来年度に向けて】読解力を育むために、読書活動を推進する。各教科の基礎的な知識・技能の習得を目指し、家庭学習まで見直す。小テスト、ドリルに加えてキュピナの活用について計画し、実施する。単元デザインを行い、「考える授業」と「鍛える授業」を実施して、基礎学力の向上を図る。また、学習したことを振り返る時間を大切に、次時につながる課題や児童が疑問に思ったことを授業の導入時に取り入れる。